1. 黄色系透明水彩絵具の透明度、顔料、色見本の例

No.	メーカー,品番		色名	透明	顔料	
1	Н	W051	イミダゾロンレモン	Ф	PY175	
2	Н	W035	パーマネント Y. Lemon	Ф	PY3、PY74	
3	Н	W039	オーレオリン	0	PY154、175、150	
4	Н	W050	インダゾロンYellow	Φ	PY154	
5	Н	W046	GREENISH YELLOW	0	PY150、PG7、PBr25	
6	Η	W030	ネイプルスイエロー	•	PY35、PY42、PW6	
7	W	547	Quinacridone Gold			
8	K	144	インディアンYellow(金黄)	透明	PY100、PBr25	-
9	Н	W049	イソインドリノンYellwDeep	0	PY110	
10	Н	W047	ブリリアントオレンジ	()	PO73、PY110	
11	K	135	ネープルスイエロー	不透明	PW6、PY154	
12	Н	W040	Cd. Y. Lemon	•	PY35	
13	Η	W043	Cd. Y. Deep	•	PO20、PY35	A FREE
14	Н	W038	Cd. Y. Orange	•	PO20	B E B

- ・黄色は鮮やかさが魅力である。
- ・各種黄色絵具を混ぜると濁るので、色味の異なる複数の絵具を使い分ける方が 濁らない。
- ・種類が多い。入手 しやすい比較的安価 なものを選んだ。
- ・名称が同じでもメ ーカーごとに顔料が 異なり、色味も異な る。

用途:透明度の高い絵具の使い方:重ね塗り効果 透明度の低い絵具の使い方:遮蔽効果、修正も

2. 黄色い花の彩色ではトーン幅を稼ぐことを忘れずに。

- ・ハイライトを使い、トーン幅を広げる
- ・黄色の陰色によりトーン幅を広げる
- ・Botanical Gray:陰の部分を被写体の実際の色のようにニュートラル(無彩色)に見せたい。
- ・薄い黄色の陰色に濃い黄色を使うだけでは効果的であるとは限らない。#3、#8、#21 との混色により様々なグレーを作る。ニュートラルグレー、ブルーグレー、パープルグレー、グリーングレーなど。
- ・ニュートラルチント、ニュートラルチント+少しの赤系、ニュートラルチント + aureoline、Cd. Yellow + #8 + #3、Cd. Orange + #3、など。

3. 赤系との混色により橙色、朱色を表現する

- ・重ねる順番は、黄色系の上に赤系を。完全に乾いてから重色。
- ・黄色系の濃さを見極めることがポイント。繰り返し重色も。

4. 青系との混色により緑色を作る

- ・黄色系と青系の配合のバランスを取り、水分を調整して、試し 紙で求める色味かどうかを確認してください。
- ・Green のバリエーションを増やして、奥行き、色による立体表現を豊かにして下さい。
- ・色価(バルール)が狂わないように気を付けましょう。

5. 黄色を使い微妙な色を塗る

・「黄色系やバーントシェンナ」+「ペイニーズグレー」の配合を調整し、落ち着いた色味を感じるグレーを。





